

運営委員会ニュース

2007年度 6

第6回運営委員会を以下開催いたします！

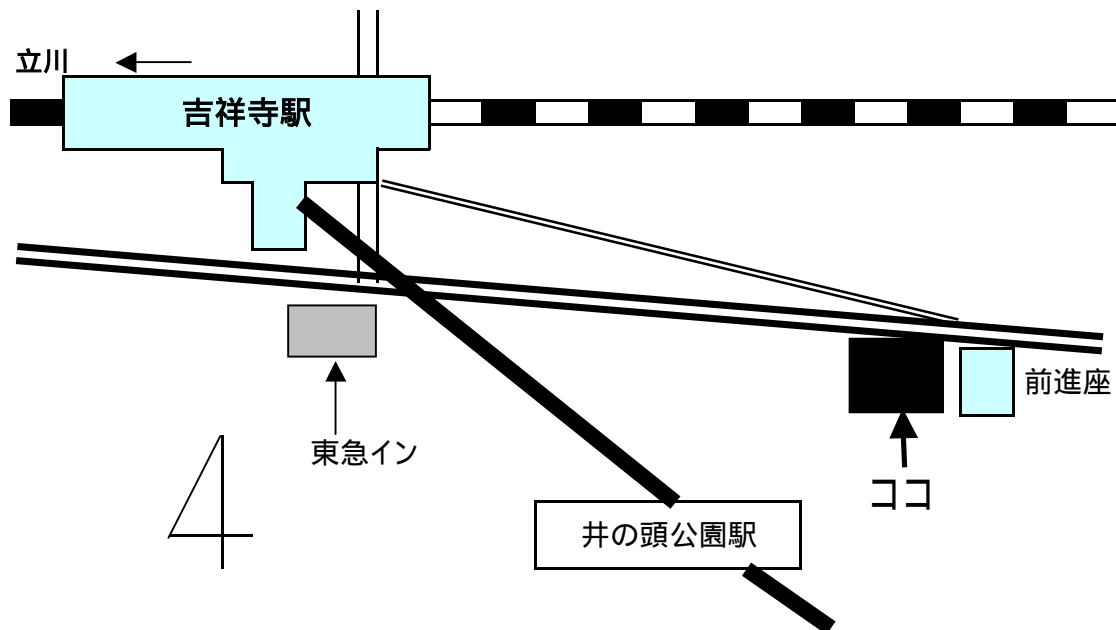
日時:2008年1月27日(日)14:30～18:00

場所:吉祥寺南町コミュニティーセンター

(地図は下。吉祥寺駅南口から徒歩15分。前進座の隣)

<http://www.komisen.org/minami-c/basyo/basyo.html>

内容:「日本の学童ほいく」誌普及拡大に向けて
第20回三多摩フォーラムについて
「一人ひとりの声を国と自治体に届ける大運動」について
事務局および各地域からの報告
その他



「日本の学童ほいく」誌2月号、1,000部突破！

「日本の学童ほいく」誌2月号は、毎年全国研究集会の特集号です。そこで、前回の運営委員会では「2月号だけでも多くの方に読んでもらおう！」という呼びかけをさせていただきました。その呼びかけに、調布市、武蔵野市、小平市、西東京市、日野市、東村山市の各連協が応えてくれ、三多摩連協が集金をしている分だけで1,082部となりました。これに全国連協が集金している分を含めると、記録としては1,100部を超える見通しです。

1,000部突破は、三多摩連協長年の見果てぬ夢でした。今回は上述の各市連協が買い上げて参加者等に配布するという事なので、2月号限りで終わってしまうかもしれませんが、それでもやはり嬉しい！役員一同、感謝と感動です！

こんなことばかり書いてると「数だけかよ！」と言われそうなので、13日から14日にかけて開催した役員合宿の討議をご紹介します。教育関係の仕事に就いているある役員から次のような主旨の発言がありました。

「子育てや教育についての雑誌は山ほど出ているんです。でもその殆どは、“どうやったら自分の子どもが競争に勝ち残れるか”というものなんですね。その点この『日本の学童ほいく』は、仲間とのつながりの中で子どもがどう育っていくのか、また、親同士、指導員同士、そして親と指導員が手をつないでいくことの大切さを中心に据えた雑誌です。こういう雑誌を読む人が増えていくことが、日本の教育と子育てを良くしていくことに繋がるんだと思います。」

三多摩連協役員が数の勘定ばかりしているのではないことをご理解いただき、日本の教育と子育てを良くするためにも、購読者を増やしていただきたいと思います。2月号を買い上げて無料で配布される地域につきましては、ただ配布するのではなく、「ページにはうちの市の さんが書いています」などのちょっとした情報や、「感想をぜひ書いてください」などの呼びかけを行っていただくとありがたいです。4月号の見本誌の取扱いの際にも貴重な参考になるかと思えます。

上述の役員合宿では、「年間10,000部を目標にしよう！」ということになりました。いっそうのご協力を、よろしくお願いいたします。

第13回三多摩学童保育指導員研修会にご参加を！

三多摩学童保育指導員研修会は、学童保育の指導員ならどなたでも参加できる開かれた研修会ですが、同時に親や行政職員など、学童保育に関心のある方にも開かれた研修会です。ぜひご参加を！

日時:2月17日(日)9:45～16:00 (受付開始9:20)

場所:小金井市民会館(午前・午後)、前原暫定集会施設(午後のみ)

内容:全体会(午前)「かけがいのない子ども時代を豊かなものに」
講師:渡辺恵津子さん(埼玉県小学校教諭)

分科会(午後) 実践記録の検討、しょうがい児を含めた生活づくり、など4分科会

今さらですが、あけましておめでとうございます！